



	<h2>2007 EL CAMINO DE SANTIAGO サンチャゴ巡礼</h2> <p>1000年前から巡礼者が歩いたと言われる巡礼の道、サンチャゴへの道を歩く旅、<u>歩くサンチャゴ巡礼の旅</u>、<u>ロンセスバジェスからサンチャゴデコンポステーラ</u>までを8回に分けて歩くサンチャゴへの旅(6月企画)</p> <p>スペイン在住専門スタッフが全行程同行2名様より催行(コースは自由に選べます。)</p> <p>第一部巡礼区間：ロンセスバジェス～パンプロナまで。6月7日(木)～16日(土)10日間 第二部巡礼区間：パンプロナ～ログローニョまで。6月11日(月)～21日(木)11日間 第三部巡礼区間：ログローニョ～ブルゴスまで。6月16日(土)～29日(金)14日間</p> <p>日程は日本発着、現地での歩く距離は第一部約43キロ、第二部約80キロ、第三部約125キロ 詳しい日程及び料金はお問い合わせください。TEL:0728-63-6667 FAX:0728-63-6668 http://www.cybersuds.co.jp/ge/santiago/ pilg@com-unity.co.jp</p>
<p>サンチャゴ巡礼をご案内する現地スタッフからの便り(第一部)</p> <p>ナバーラの路・開始地点にあたるロンセスバジェスでは、巡礼を始めるにあたって、サンタ・マリア教会にて安全な巡礼が行なえるようをお祈りします。この教会は、もともと、12～13世紀からあったものですが、後に改装が行なわれ、更に、15世紀、17世紀に大きな火災の被害にあっているため、大々的な改装が行なわれたため、現在、残っているのはゴシック時代のものが一部と、バロックに入ってからのもので、ゴシックの礼拝堂の中にこの辺り一帯を守ってくださる、14世紀のマリア様の御像が置かれています。また、サンティアゴ巡礼路の拠点である所から、ヤコブの御像も置かれています。ここは常に門が開かれていますので、中でお祈りをしてから巡礼を開始です。また、13世紀のロマネスクからゴシックへの移行期に作られた聖ヤコブの教会がありますが、残念ながら、これも常に内部へ入れると言うものではありません。更に、戦争抒情詩ローランの歌で知られるローランの墓があり、内部に聖霊の礼拝堂がありますが、これもいつでも見られると言うものではありません。ロンセスバジェスを出発しますと、あとは、小村に点在する小さなお御堂を基本的には外観のみ見ながら巡礼を進めていきます。第一部では、その後、内部見学が、特別な事情が無い限り、可能なのはパンプロナの大聖堂となります。パンプロナはザビエルが聖職者の道を進むべくその髪切りの儀式、日本語でなんと言うのでしょうか、辮髪式とも言うのでしょうか?を行なった町であり、また、イグナシオ・デ・ロジョラが、後に聖職の道に入る直接の原因となった戦傷を受けてまで守り抜こうとした町ですね。パンプロナで2連泊となっているのは、こう言った日本のカトリック文化とのつながりが強い意味から、この町を素通りするのではなく、そう言った歴史を確認して頂くためです。</p>	

ヨーロッパ・カトリック聖地巡礼センター〒575-0043 大阪府四條畷市北出町13-5 コミュニティ内

TEL:0728-63-6667 FAX:0728-63-6668 pilg@com-unity.co.jp

センター(open)午前9時30分～午後6時、土、日休み、時間帯以外はFAX,E-mailでお問い合わせください。

企画協力：ヨーロッパ・カトリック聖地巡礼センター・ワールド巡礼センター

旅行企画・実施：エアワールド株国土交通大臣登録旅行業第961号 旅行取扱：コミュニティワールド大阪府知事登録旅行業者代理業第5393

TEL:0728-63-6667 FAX:0728-63-6668 pilg@com-unity.co.jp

<http://www.cybersuds.co.jp/ge/pilg>